



司法と福祉をつなぐ①

～矯正施設を退所した障害者の支援を考える～

2023年3月2日（木）13:30-15:30

オンライン（zoom）開催

①矯正施設について学ぶ

13:30-14:30 少年院の役割、福祉専門官の役割について / 岡山少年院

矯正施設内で福祉的な支援が必要な方にどのような支援が行われているのか。退所後の生活環境調整を行う福祉専門官の方からの話を聞いて学びます。

②矯正施設を退所した障害者の支援を考える

14:30-15:30

事例検討：暴言・暴力などの行為を繰り返す方を支えるために
何が困難を生み出しているのか。生きづらさの背景を問う

話題提供 岡山県地域生活定着支援センター

助言者 竹端 寛 氏：兵庫県立大学環境人間学部准教授 / 岡山少年院

出所後地域で暮らす中で、当事者を取り巻く困難。それは個人に起因するだけでなく、環境や制度、価値観などあらゆる社会の要素が関連しています。事例を踏まえ、その背景を考えます。

定員：30名

対象：障害者・高齢者支援、刑事司法・司法福祉に関わる方、その他関心のある方

申し込み方法：

令和5年2月27日（月）までに、

フォーム・メールいずれかの方法で申し込み下さい。後日URL等をお送りします。

宛先：teichaku@fukushiokayama.or.jp 氏名、所属、職種、電話、メールアドレスを記入下さい。



お問合せ：岡山県社会福祉協議会 福祉支援部

／地域生活定着支援センター（担当：西村）

〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ 3階

TEL：086-226-2840 FAX：086-226-3557

ゲスト紹介



竹端 寛（たけばたひろし）氏

<略歴>

兵庫県立大学環境人間学部准教授、専門は福祉社会学、社会福祉学。姫路市在住。

1975年、京都市生まれ。大阪大学人間科学部、同大学院博士課程修了。博士（人間科学）。

山梨学院大学法学部政治行政学科教授を経て、2018年から現職。西宮市地域福祉計画策定委員会・委員長、芦屋市権利擁護支援システム推進委員会・委員長などを務める。

著書に『家族は他人、じゃあどうする？—子育ては親の育ち直し』

『「困難事例」を解きほぐす—多職種・多機関の連携に向けた全方位型アセスメント』（現代書館）、『「無理しない」地域づくりの学校』

（ミネルヴァ書房）など。

